

9月定例会

決算審査
特別委員会

9月定例会中の決算審査特別委員会において、平成22年度の各会計の決算について審議を行い、すべての議案が認定されました。また、今回からの試みとして、選定した6事業の決算について、行政評価による審査を行いました。

なお、これらの審議結果を次年度（平成24年度）の予算編成に反映させるために、決算に対する議会の意見として、市長に附帯決議を提出しました。

平成22年度一般会計等
決算認定に対する附帯決議

今年度の決算審査は、合併後最初の本格的な審査であり、各会計の決算書および選定6事業について、事務事業などの管理運営や実施状況について審査した。

審査の結果、すべての会計が黒字決算となっており、また、市の財政状況を示す経常収支比率や健全化判断比率は改善されているが、

以下の点について留意し、今後の市政運営に当たられたい。

- 各特別会計や企業会計の所管においては、一般会計からの基準外繰出金が最小限になるよう一層の経営努力を行うこと。
- 公営住宅使用料を始めとする各種税・公共料金

の未納対策については、民間のノウハウなどを調査研究し、市民負担の公平性の確保に努めること。

●九州大学関連道路（波多江泊線）整備事業については、県事業とはいいながらも、多額の市の負担を伴うことから、事業の必要性や妥当性を丁寧に市民へ説明すること。

また、必要があれば事業の方法などを見直すよう福岡県と協議検討を行うこと。

●教育センターの運営に

については、旧自治会館への移転と併せて、教職員を対象とした研修を充実させるなど効果的な運営を行うこと。

●健康づくり講座の実施については、市民ニーズが多いことから、期限を区切つて、事業規模を拡大するとともに、備品などの充実を図ること。

●各種団体補助金については、内容の明確化を図るとともに、適正な処理がされるよう周知徹底すること。



糸島市議会定例会が行われる議場

選定6事業の行政 評価による審査報告

議会だより

1 市民提案型
まちづくり事業

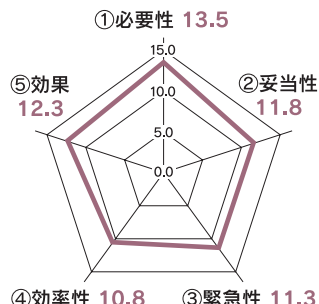
事業概要 市民協働のまちづくりを推進するため、NPOやボランティア団体などが専門性や迅速性を生かし、地域の課題解決および魅力の発信を図ることをめざして提案する事業に対し、1事業当たり50万円以内（総額300万円以内）で助成する制度。

主な意見など

- 市民と行政の協働のまちづくりは行政の責務。
- NPOやボランティア同士の交流、情報交換の場ができている、極めて大きな波及効果を感じる。

分析 市民目線からのニーズに応える事業であるために、必要性の評価が非常に高い。さらに、市民間の交流、自発性を促すなどの波及効果が生じている点から、効果や効率性も高評価である。

評価：良好である



2 固定資産土地評価
資料作成業務

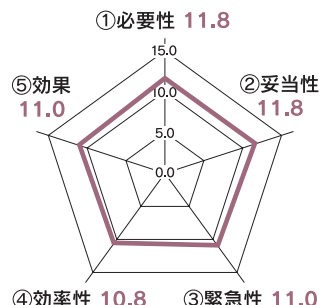
事業概要 総務大臣が定めた固定資産評価基準に基づき旧1市2町がそれぞれに実施してきた土地評価（宅地など）を継続、調整し、平成24年度評価替えに向けた細部の必要な資料を作成するもの。

主な意見など

- 個人の財産を評価する作業なので行政主導の方法は妥当。
- 現在のように経済の変動がある時代において緊急性は高い。
- 必然的に課税への成果はあると考える。
- 個人情報保護には十分に注意すること。

分析 地方税法の規定に基づき「評価替え」に関する事業であるため、妥当性の評価が高く、さらに公平な課税という観点から、必要性や効果も認められている。

評価：良好である



3 校区健康づくり
講座

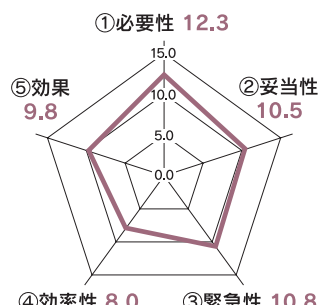
事業概要 健康づくりの機運を高めるため、健康づくりの講話と体力測定、ウォーキングの実践指導を行い、その後約2か月間ウォーキングを実践していただき、その結果を講評する講座。

主な意見など

- 市民の健康増進と市の医療費抑制のため必要だと思われる。
- 全市民的健康づくりは行政の使命である。
- 市民の機運が高まったあとは民間委託も考慮してよい。

分析 市民の健康意識の向上、高齢化社会への対策という観点から必要性和緊急性が高く評価されている。その反面、少額な予算と事業の実施内容については指摘があり、効率性については低い評価となつた。

評価：良好である



4 九州大学関連道路
（波多江泊線）整備事業

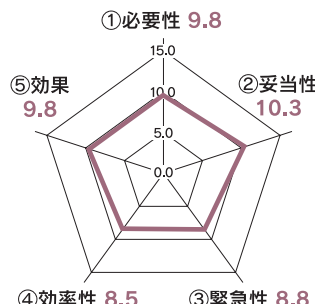
事業概要 福岡県の事業で総延長2490m、総事業費120億円（市負担額14億3千万円）の道路の整備が行われている。本事業は平成17年に着手され、平成30年度に完了の予定。

主な意見など

- 九州大学との連携、企業誘致、幹線道路として地域交通道路ネットワーク上重要である。
- 住民が納得していない。住民の理解が得られなければ、効率性があるとはいえない。

分析 必要性、緊急性については、九州大学との連携や地域の発展など将来性に期待する評価と、地元住民の反対や事業優先順位の疑問視など現在の問題点を直視した評価に分かれた。

評価：おおむね適正である



5 志摩歴史資料館
管理費

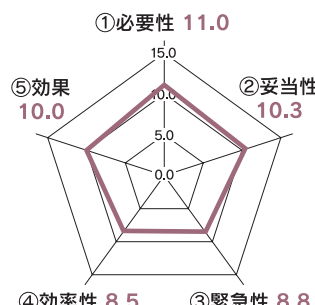
事業概要 糸島半島の交流、交易の歴史、地域の歴史や産業を紹介する施設として「海」をテーマとした常設展示室と、海軍航空隊玄界基地展などの企画展や美術展、コンサートなどを開催する企画展示室および歴史資料収蔵室の管理運営経費。

主な意見など

- 費用対効果だけでは表せない効果もある。
- 有効性は認められるが、必ず必要かという点は庁舎統合と併せて検討が必要。

分析 費用対効果の小ささから効果や効率性は低評価となった。その反面、資料館は利益追求が目的ではないこと、市民や子どもたちへのニーズが高いことから必要性は評価された。

評価：おおむね適正である



6 農業集落
排水事業

事業概要 農業振興地域の下水道を整備する事業で、7地区を計画し、平成24年4月には7地区すべての地区の供用開始を予定している。事業期間は、平成9年度から平成32年度までの計画。

主な意見など

- 公共下水が整備されていない農村部に対する事業であり重要である。
- 公共下水道と連携した取り組みで効率化が図れている。
- 環境、衛生面の改善に大いに役立っている。

分析 すべての項目について高評価となっている。公共下水道が整備されていない地域の実情、環境面や衛生面への有効性から、特に必要性和効果の項目で高い評価を得ている。

評価：極めて良好である

